

⑥ 魚釣り…Fishing

⑦ カルタ取り…Karuta

⑧ かくれんぼ…Hide-and-Seek

⑨ おままごと…Play House

⑩ 実物探し…Finding Real Things

⑪ ケンケンパ…Hop Scotch

⑫ すごろく…Sugoroku (Board Game)

⑬ 陣取り…Territory Game

⑭ 記憶力ゲーム…Memory Game

⑮ 頭の上のカードはな～に？…Guessing Game

⑯ お話し作り…Making a Story

⑰ カテゴリー分け遊び…Category Game

⑱ しりとり…Shiritori (Word-Chain Game)

⑲ 伝言ゲーム…Telephone Game

⑳ ビンゴ…BINGO

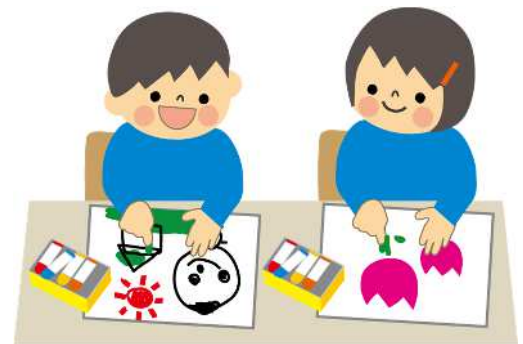
㉑ ジェスチャーで当てっこ…Charades Game

㉒ お絵かきで当てっこ…Pictionary Game

㉓ 言葉で当てっこ…No Gestures nor Pictures, Words Only Game

㉔ 3つのヒントで当てっこ…Three Hint Game

㉕ タブーは言わずに当てっこ…Taboo Game





①親子で『交換 TAC』

TACの録音機能で遊ぶ、交換日記ならぬ、『交換 TAC』です。お父さんが仕事で遅く、お子さんになかなか関われない場合などに、お父さんに録音してもらうこと！母親だけでなく、ぜひとも父親にも DWE の遊びに関わってもらおうと、子どもも喜び、英語子育てもうまくなります。

お子さんが録音したカードを、夜お父さんが聞く。そして、同じカードまたは、違うカードにお父さんが録音。カードの単語・文章を発音しても良いですが、その時に「○○ちゃん・○○くん、頑張っているな」「上手になった」などと褒め言葉を入れたり、「今度は 16~20 に挑戦してね」と次のカードを指示したり。全てに録音がされていなくても、どれかにお父さんの声が入っていると、翌日子どもはどれに声が入っているかワクワクしながら、全て聞き、次も頑張ろうと思います。TAC を楽しいと思い、自分からどんどん聞いて、録音して、それを再び聞く。これを繰り返し、リスニング力とスピーキング力が身につきます。



このように、TAC の録音機能を使うと、お子さんが声を出すアウトプットの機会になります。録音する方法は、音声を拾う用の穴が開いている方にオレンジ色の矢印➡を向け、単語だけでなく、文章も載っている方のカード(裏面)を通し、音声の後に繰り返して言います。録音したのを聞く場合は、オレンジ色の矢印➡を👤に向けて、録音した TAC (裏側)を通すと聞けます。時間がある時に、上手に言っていた TAC を 10 枚選んで、Playmate に通して録音された音声を流しながら、それを録音するという方法があります。



マイクを付けるだけで、子どもは録音をしたくなることも。普通のマイクで飽きた子どもには、購入時プレゼントされたミッキーやミニーのマイクに変えてみると違った反応がみられるかもしれません。あの手、この手で色々試してみてください(笑)

DWE を活用する際に心がけている、『子どもと一緒に遊ぶこと』と『子どもを褒めること』を TAC で実現してみました。お子さんは親御さんの声を聞くのが大好きなので、お父さんだけでなく、お母さんもぜひやってみてくださいね。



②洗濯ばさみで動物園…Zoo with Laundry Pinches

TAC に洗濯ばさみを付けて、動物カードを立たせ動物園を作る遊びです。小さいお子さんにとっては、洗濯ばさみをカードに付けるといっただけで、手先を動かす練習になります!! このアイデアは、2015年5月27日に Member's Voices で紹介しました。

動物園を作る時は、Sing Along!の CD4を流して、DWE の Book10 や Book11のお話を再現するようにすると盛り上がります。肉食と草食、水辺で生息する動物、農場にいる動物などと分けて配置するのも良いですね。鳴き声クイズを出して遊ぶこともできます。“What does a lion say?(ライオンは何て鳴く?)”や“What animal roars?(ガオーってうる動物は?)”etc



動物園ではなく農場を作っても楽しいですよ。“What Does a Duck Say?”や“I Like My Rooster”を聞きながら作ると、鳴き声が覚えられます。前者は、Sing Along!1の CD⑪、Story and Songs2 の CD⑩に入っています。後者は、Sing Along!2の CD⑦、Story and Songs4の CD⑳に入っています。鳴き声クイズも出してあげて下さいね。



動物の英語の鳴き声の一覧で参考になるウェブサイトはこちらです。

http://en.wikipedia.org/wiki/List_of_animal_sounds

動物が ABC 順に並んでいて、横にその動物の鳴き方の名詞や動詞が載っているので分かりやすいですよ(^o^)/ちなみに、象の鳴き声は trumpet を使います。An elephant trumpets.(象はパオーンと鳴く) トランペットのような甲高い声でなくからでしょうね。

THANK YOU



上の写真↑は3歳の男の子が動物園を作って遊んでいるところです。ぬいぐるみやフィギュアがお客さんみたてて動かし、親子で“Which Way?”を歌いながら動物園を見てま

わったそうです。親がお客さんで、お子さんが zookeeper (飼育員) となっても遊べます。
お子さんに動物園を案内してもらいましょう(^o^)/写真掲載の快諾に感謝です m(_)_m

【洗濯ばさみで動物園で使える会話集】

- ① Let's make the zoo/farm!
- ② You use two (laundry) pinches.
- ③ One here, the other here.
- ④ Now, you can make the card stand like this.
- ⑤ What does a duck say in English?
- ⑥ It says "Quack! Quack!"
- ⑦ Do you know what a duck says in Japanese?
- ⑧ Of course. It says 「ガーガー」.
- ⑨ What animal says "Oink! Oink!"
- ⑩ A pig says "Oink! Oink!"
- ⑪ Excuse me.
- ⑫ Where is the elephant?
- ⑬ Which way should we go?
- ⑭ I don't know which way we should go.
- ⑮ This way, please.
- ⑯ Go straight, please.
- ⑰ Please turn right/left.
- ⑱ Here we are!

【日本語訳】

- ①動物園/農場を作ろう!
- ②洗濯ばさみを2つ使うよ
- ③一つはここ、もう一つはここ
- ④さあ、こんな感じで立たせてられるよ
- ⑤アヒルさんは英語で何て鳴く?
- ⑥「クワクワ」だよ
- ⑦日本語でアヒルは何て鳴くか知ってる?
- ⑧もちろん。ガーガーでしょ。
- ⑨「ブーブー」って鳴く動物は何か?
- ⑩ブタが「ブーブー」って鳴くよ
- ⑪すみません
- ⑫象はどこですか?
- ⑬どっちに行ったら良いの?
- ⑭どっちに行ったら良いか分からないわ
- ⑮こちらです
- ⑯まっすぐ行って下さい
- ⑰右/左に曲がって下さい
- ⑱着きました!



③ボウリング…Bowling

【洗濯ばさみで動物園】という遊びから、【ボウリング】【ゴルフ】、【ドミノ】などのゲームにも発展させられます。

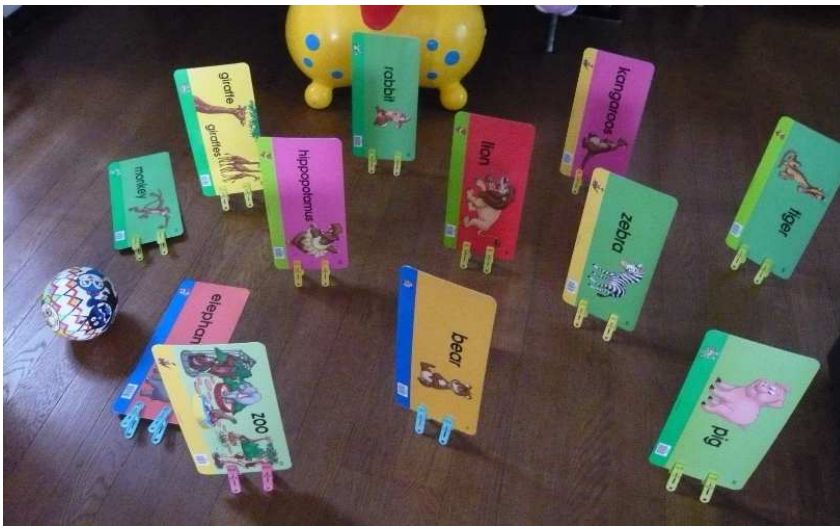
TAC に洗濯ばさみを付けて、ボウリングのピンに見立てて倒す遊びです (*^-^*) 写真は動物のカードで作りました。動物だと立てるとより本物感があるのでおすすめです (*^-^*)v

ボールを思った方向に転がすのも小さいお子さんには難しいですが、Play Along の大きいボールであれば成功率が

上がるかもしれません(^_-)-☆ ボールの大きさを調整することで、難易度を調整できます。”Roll the ball to me”を”Roll the ball to the pins”と歌って説明してあげて下さい。

また、洗濯ばさみを留める位置を替えて、縦に立て、幅広にカードを置くと倒し難くなります。カードを縦に置くと、Playmate にカードを通す時洗濯ばさみが邪魔になりません。倒して遊ぶだけでなく、倒したカードは Playmate に通して音声を確認したいものです。

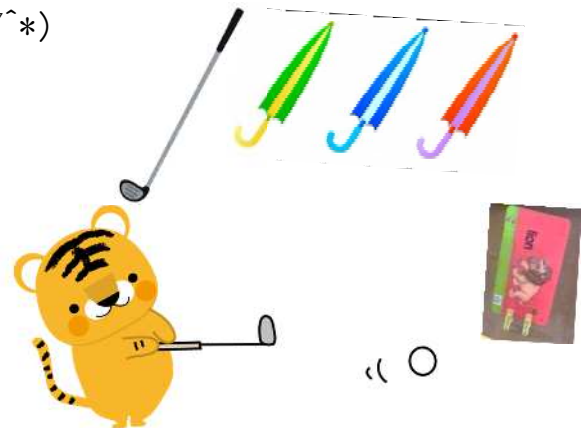




④ゴルフ…Golf

「ゴルフ」のコースを作るイメージで、洗濯ばさみを付けた TAC をある程度の間隔を開けて置いていきます。子どもは、一番近くの TAC に狙いを定めてボールを転がします。手で転がすのも良いですが、傘を使って「ゴルフ」のドライバーのようにボールを打ってやると、難易度がグッと上がり、小学生でも楽しめるかもしれません!!

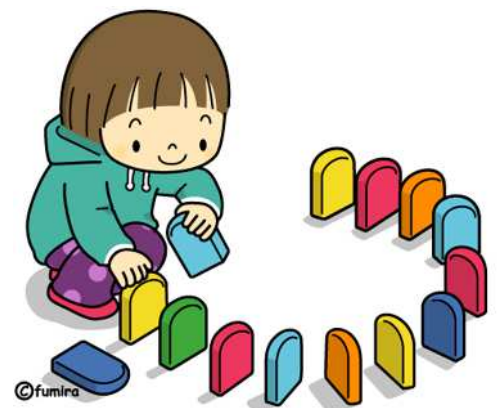
家があつという間にゴルフコースに大変身します(*^▽^*)



⑤ドミノ…Domino

洗濯ばさみで立てた TAC をドミノのように並べて、ドミノ倒しができます(^o^)/動物だったら、小さい動物からだんだん大きい動物へと並べるのも面白いですね(^_-)-☆TAC の絵は同じような大きさに全て描かれているので、図鑑などを見ながらやると良いかもしれません。TAC の番号順に並べるのも、数字の勉強になりますよ!!

ドミノは、洗濯ばさみを取る前にぜひ遊んでみて下さい♪



⑥魚釣り…Fishing

【TAC を釣る編】

TAC にクリップをつけて、魚に見立てて釣る遊びです。釣竿は、Let's Play をお持ちの方はそちらの釣竿を、ない方は 100 円ショップなどでも売っていますし、手作りも可能です。割り箸、ひも、磁石があればできます。ひもの長さを短くすると、小さいお子さんでも取りやすくなります。釣ったカードは Playmate に通すと良いですね!!



THANK YOU

空箱をボートに見立てるとより本格的になります(^o^)/このアイデアは Member's Voices で知りました。アイデアと写真掲載の快諾に感謝です(*´3`)♡

現在 Member's Voices には検索機能がないので、このような素敵な情報がどんどん埋もれて行ってしまうのがとても残念です(>_<)

THANK YOU

【大きいお子さん向け編】

大きいお子さんには、フックとダブルクリップをおススメします。マグネットとクリップバージョンより、難易度があがりますが、より本格的になります(*^▽^*)3 歳のお子さんには少し難し過ぎたようですが、手を使って引っ掛けて、とても楽しまれたようです。アイデアと写真掲載の快諾に感謝です(*´3`)・

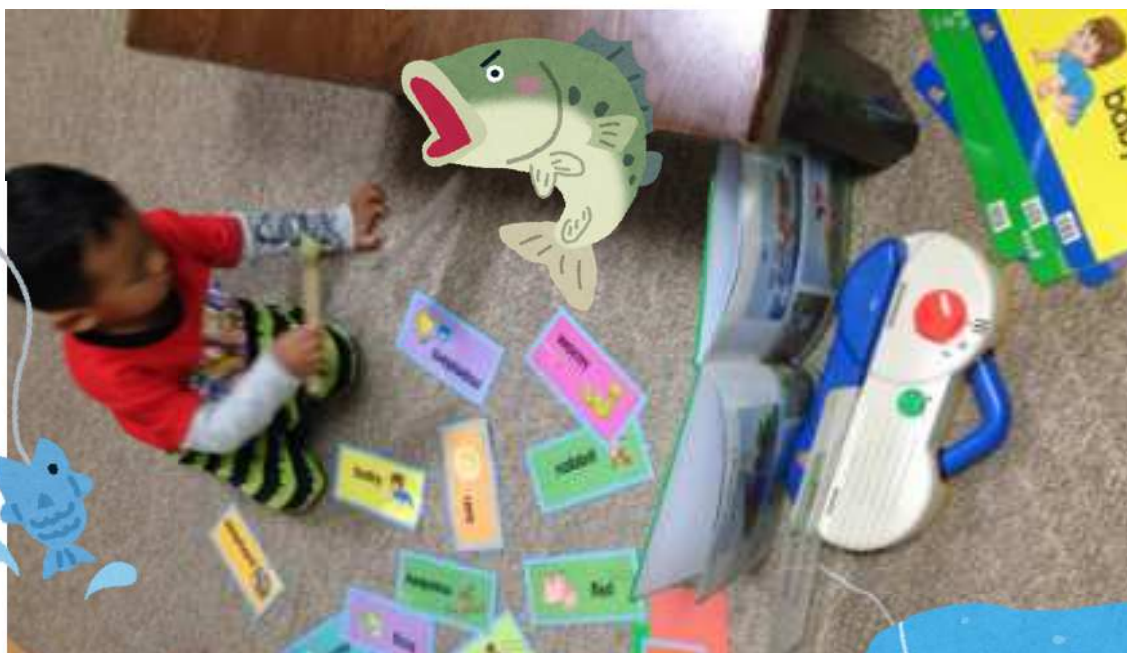


【名詞・動詞・形容詞カードを釣る編】

今度は、TAC にクリップを付けるのではなく、**名詞・動詞・形容詞カードにクリップを付け**ます。名詞・動詞・形容詞カードは、ミッキー・マジックペンセットを買われた方についてきています。**細長いカードケースで黄緑の“Act it out!”と水色の“Draw it!”**があります。このカードはすべて TAC と連動していますので、**同じ柄の TAC を準備**します。名詞・形容詞・動詞カードの裏には対応する TAC の番号が書かれていますので、探しやすいかと思えます。**お子さんに見えないように TAC を Playmate に通して、お子さんは聞こえた音の名詞・動詞・形容詞カードを釣ります。**アイデアと写真掲載の快諾に感謝です(*´3`)♡



※TAC に比べて、こちらのカードは弱いのでご注意ください



THANK YOU



- A:釣竿準備
- B:名詞・動詞・形容詞カードにクリップを付ける
- C:カードに対応する TAC を準備
- D:お子さんに見えないように TAC を通す
- E:お子さんが流れた音声のカードを釣る



⑦カルタ取り…Karuta

TAC の定番の遊びと言えば、カルタではないでしょうか？TACのカードを床に置いて、読まれたカードを探し遊びです。カードを部屋のあちこちに置くと、部屋を走りまわって、結構な運動になります。雨の日などにおススメです。早く走れるお子さんの場合や人数が多い場合は、怪我に注意しましょう!!

手で取るのも楽しいですが、**ハエたたき**で叩いて取るようにすると一段と盛り上がりますよ(*^▽^*)

ゲームが終わったら、みんなでカウントしながら枚数を数えることを忘れずに。数字の練習になりますよ(^0^)/人数が多い場合、数え終わった子から座って行くと、一番多かった子がすぐに分かります。



【取り札の選び方】

TAC は 510 枚と多いので、お子さんが好きなカードの中に、覚えてほしいカードを織り交ぜながら、取るカードを選ぶようにして下さい。**お子さんの好きな食べ物や動物など、テーマに沿った TAC でカルタ取り**もできます。この場合は、TAC のガイド本の 173 ページを開くと、TAC がテーマ別に分かれてまとめてあります。テーマをそのガイドから選んでも良いでしょう。また、**レッスン中のお子さんなら、DWE の Book に対応した TAC** で遊ぶと、レッスンの予習や復習になります。または、**名詞・動詞・形容詞と品詞に分けて**、遊ぶこと

もできます。

ゲームの妨げにならない程度の音で、カルタ取り中 **BGMに DWE の CD を流しておく**と、**インプット量が増えます**。食べ物や動物などテーマ毎に遊ぶ場合、Light Blue CAP を目指されている方が多いかもしれません。Play Along の CD をかけられると良いですね。レッスン中で、DWE の Book 毎にする場合は、対応した Story and Songs の CD を流すと効果的です。

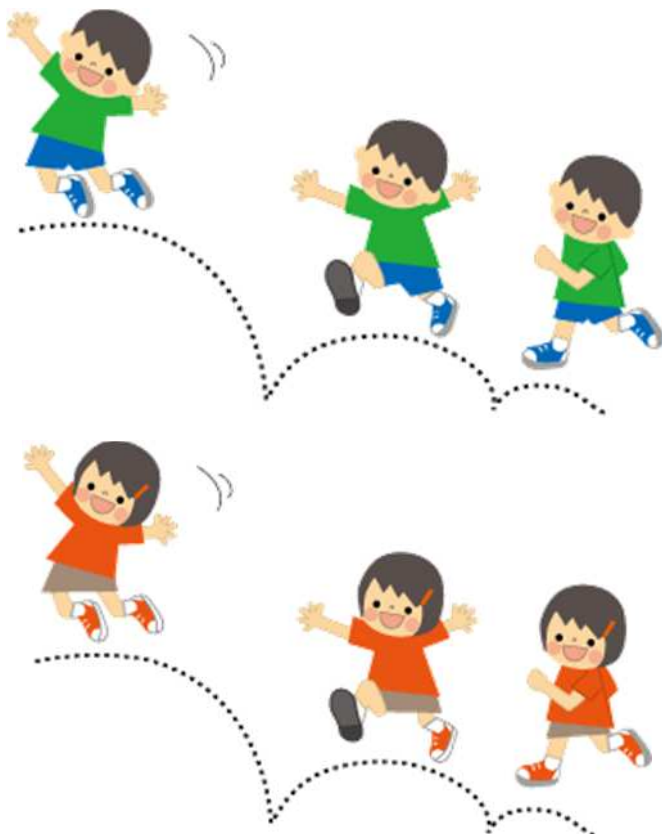
【読み札の準備】

読み札を作りたい場合は、マジックペンをお持ちの方が持っている**細長いカードケース**で黄緑の**“Act it out!”**と水色の**“Draw it!”**のカードが利用



できます。タッチペン対応でないのが、残念ですが、読める方はこのカードが使えます。読めない場合でも、小さいそのカードをお子さんに見せてから、対応する TAC を探せば OK! 読み札があると、子どもが TAC を取った後に、正解だったかの確認ができますが、用意するのが面倒な場合、置いてある TAC から選んで、読んでも良いです。**TAC を取った後に、必ず Playmate に通し音声を確認**するようにすれば、お子さんは正しい発音を身に付けていきますので、**読み手の日本語英語で発音が悪くても、大丈夫**です。

親自身が英語力に自信がなく、読み札を担当するには、抵抗があるという場合は、**Sing Along!**についているポスターの絵を指してあげても良いですし、マジックペンがあるお宅であれば、**マジックペン対応の Fun with Words**などに**タッチ**してから、お子さんが TAC を探すという方法もあります。



お子さんが探す側を喜んでする場合もあれば、読み手をやりたがる場合もあります。ご兄弟で競争したり、読み手と取り手を交代でやったり、と**お子さんの性格や家族構成で方法を変えて**見て下さい。お子さんは親御さんが一緒に遊んでくれることが嬉しく、楽しい時間となります。見ているだけではなく、ぜひ一緒に遊んで下さい。子どもよりも先に TAC を取って、お子さんが悔しがるのも面白いかもしれませんね(笑)

カルタはどのレベルのお子さんでも楽しめる遊びですが、**お子さんの年齢や英語力、参加人数でカルタの遊び方は変わっていきます**。DWE を始めて間もない頃、ある程度聞き取りができるようになった頃、アルファベットを覚えた頃と分けて説明しますね。ここでは、読み札として、**形容詞(感情)カード**を使っています。



【A:初期の段階】

DWE を始めて間もなく、聴き取りも、言うことも、読むこともできないお子さんでも遊べる方法は、**絵合わせゲーム**です。TAC を床に置きます。そして、形容詞カードを1枚見せるか、渡してあげます。子どもは同じ柄のTACを探します。**子どもは、同じカードがあるというだけで、面白い**ようです。見つけたら、Playmate 機械に通すのをお忘れなく。



この応用編は、狭い範囲の床にすべてのカードを置くのではなく、机の上に置いたり、本棚に少し見えるように置いたり、カーテンの裏に隠したりと、**カードを色々な所に置きます**。小さい子どもはかくれんぼが大好きなので、カードを隠す側もたがります。ただし、**紛失した場合は、保証外になってしまいますので、注意が必要**です。

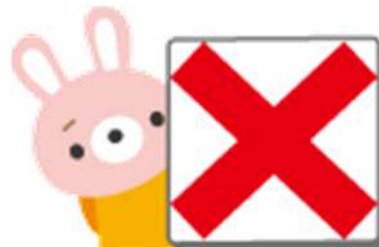


【B:お子さんが聴き取れる場合】

親が TAC を Playmate に通して、子どもが TAC を見ることなく、対応する形容詞カードを探します。上記のように、部屋のあちこちに隠して遊ぶこともできますが、形容詞カードは小さく、更にTAC より柔らかく曲がりやすいので、紛失の恐れが高く、あまりおススメはできません。

私は、**自分が洗濯物を洗濯機から出して作業**している時に、この遊びをしました。**子どもは居間にいます**。私がカードを通すと、子どもは居間の床に置いてある対応するカードを洗濯機の所まで走って持ってきて、正しいかを確認し、合っていると褒められ、また居間に戻って、次のカードが流れるのを待ちました。**距離があると、こちら家事をしながらの対応ができる上、子どもはその距離が楽しい**ようです。自分が選んだカードが正しいのか不安ながらもワクワクしながら、私のもとに持ってきていたのだと思います。

Playmate に通すのが面倒な時は、自分で言っていました。例えば、Light Blue の CAP 課題に取り組んでいる時、動物カードを居間に置き、家事をしながら、“Please bring me the bear / cat / dog.” などと言って持ってきてもらいました。食べ物カードの場合は、“I’m hungry. I want to eat apples / bananas / hot dogs.”とか“I love fruit. Give me any fruit, please.”などと言って遊べます。



【C:文字が分かる場合】

大きいTACカードを床に置きます。**親は形容詞カードの単語のつづりを読み、子どもはつづりを聴いてカードを探します**。“S L E E P Y spells…?”や“What does H A P P Y spell?”のように尋ねることもできます。子どもは、“S L E E P Y spells sleepy.”、“H A P P Y spells

happy.”と答えながら、親にカードを見せ、合っているか確認します。更に、レベルを上げ文章も言ってもらおうとより力が付きます。例えば、“H A P P Y spells happy. Mickey is happy.”と答えてもらいます。

逆さ読みも楽しいですよ!! **単語のつづりを逆に読むだけ**ですが、お子さんは、最初の文字ではなく後ろの文字に着目するようになります。**逆さで聞いたアルファベットを頭で元に戻す際も、色々考えるので頭の体操**にもなります(*^-^*)

I'm going to read a word backwards.(単語を逆さ読みするよ)

Guess what it is!! (何なのか考えてね)

Y P E E L S is …? (Y P E E L Sは?)

いきなり6文字は難しいので、“t, a, c”のような3つのアルファベットから始めましょう。子どもはそれを頭で“cat”と並び替えて札を取れたらクリアーです。正解したら、TACを通して音声を確認しましょう。“g, o, d”→“dog”や“d, e, b”→“bed”の3文字など、最初は簡単なものから始めて、慣れて来たら、文字の数を増やしていきましょう。

この逆さ読みは、カルタの時でなくても、ちょっとした空き時間にできます。

英語だけでなく、日本語でも逆さ言葉「ごんり」を聞いて、「りんご」と戻す遊びもできます。「りんご」から「ごんり」と逆さ言葉にしてもらう方法もあります。**逆さ言葉遊びは、準備の手間もかからず、いつでも簡単にできます**ので、ぜひやってみてください。**ユーザー会**などの時も、ざわついてしまった時やちょっとした合間に入れると集中して考えてくれるかもしれません。



【D:参加人数が多い場合】

ユーザー会などで、**ユーザーが2組以上集まって一緒に遊ぶ場合**は、取り札でばらまくTACと、読み札でPlaymateに通すTACと用意できます。取り札が多い場合、取るTACが数セットあると、取れないお子さんが少なくなるかと思えます。集まるお子さんの年齢や英語力によって、取れるお子さん、取れないお子さんが出てきてしまいますので、カルタは注意が必要です。

全員が一度に行う場合、**一番早くTACを取った子が、「Playmateに通す次の読み札のTACが選べる」という特権**を付けると、子ども達も早く見つけようになります。一番早く見つけた子は必然的に1回休みになり、より多くのお子さんが、TACを取れる機会が増えます。読み札は、必ず回収するようにします。主催側の大人としては、こちらが主な目的ですが、ばれないように気を付けて下さいね(笑)

TACが数セットあり、お子さんの年齢や英語力に偏りがある場合は、**チーム分けをしてそれぞれ別々にカルタをする**という方法があります。

または、**小さいお子さんには、大きいお子さんには見えないように少し先にカードを見せてあげて、その後、「D…、O…、G spells?」**とためながらつづりを言うと、**レベルの差がなくみんな同じくらい取れる**ようです。それぞれ異なるレベルのお子さんそれぞれが楽しめるように、ちょっと一工夫する必要があります。



また、ご家庭のTACが分からなくならないように、色の付いた〇シールをご家庭で色を決めて貼る必要^①があります。他のご家庭のTACが混ざっても良いということであれば、シールを貼る必要はありませんが、終わった後、数字を見ながらそれぞれセットし直す必要があり、混ざってしまうと整理が面倒です。シールを貼って置くと、次のように後片付けが楽になります。

カルタ取りが終わり、何枚取ったかみんなでカウントし終わったら、自分が取ったカードの貼ってあるシールの色を見ながら、色で分け直します。ここでも競争を促すと、子ども達は片付けをゲーム感覚で楽しく素早くしてくれます。ここでは、あまり枚数を取っていない子の方が、逆に早く片付け終われますので、「わあ、お片付け早かったねえ」などと声かけてもらえると、先ほどカルタで負けた気持ちがスッキリするかもしれません。

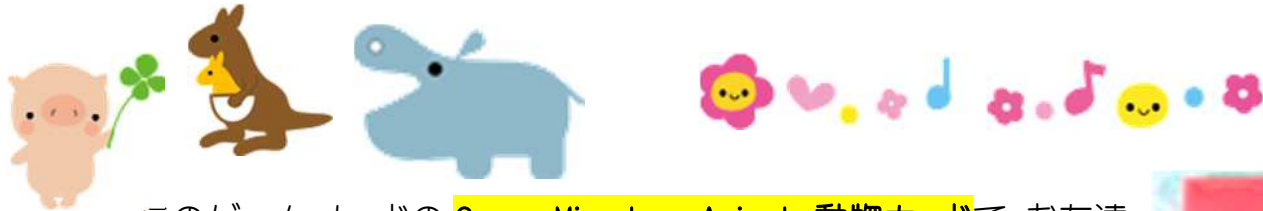
シールははがれる危険性もあり、シールを貼るのは面倒という場合は、TACにパンチで穴を空けるという方法もあります。家ごとに穴を空ける位置を統一してもらいます。一つはTACに穴が開いていない家、一つは右上に穴が開いている家、一つは左上に穴が開いている家、まだ必要であれば、中央上に穴が開いている家と分けます。それぞれの家庭のTACが混ざってしまった時の片付けは、穴の位置をみながら分類します。最後にリングにTACが全て通り、ずれていなければ完成です。この片付け方法は、お子さんには向いていませんので、大人の方がして下さい。



上の写真は、タッチペンに対応したカードに穴を開けたものです。カード中央に穴を開けたパターンと、右上、左上に穴を開けたパターンとあります。このカードに穴を開けて、リングを通し、持ち運べるようにするなら、右利きのお子さんならカードをめくりやすいように右上に穴を空けるのが良い^②と思います。初めてやった時、深く考えずに中央にしてしまったんです(/ω\)箱に入れていた頃より、ずっと遊ぶ機会が増えました。リングは少し大きめの方が、お子さんはめくりやすいですよ。車内にいかがですか？

ちなみに、こちらは丈夫にするために、100円ショップで購入した透明なリング穴補強

シールをカード裏表に貼っています。TAC は、リングを常に通して、めくって遊ぶ訳ではなければ、補強シールを貼る必要はないかと思います。このゲーム・カードに穴を開けるアイデアは、Member's Voices で知りました。



このゲーム・カードの **Crazy Mixed-up Animals 動物カード**で、お友達のユーザーとカルタ取りをしました。子ども達 6 人全員にハエたたきを渡して、**手で取るのではなく、ハエたたきでカードを取りました。**



これは、動物が前と後ろに分かれているので、2 セットあると取り札が 4 枚あることになり、6 人でも遊べました。1 人ユーザーではない、英語のできない大きいお子さんも参加していて、その子を意識して、最初に英語で言って、日本語で言ってあげるなどして、一緒に遊べるように工夫しました。”Where’s the giraffe キリン?”とか”Find the elephant 象!”とか言っていました。Tiger や Butterfly など知っていそうなものは、あえて日本語にしませんでした。**鳴き声で取ってもらう**こともありました。”What animal says Oink Oink ブーブー?”牛の場合は、“Moo”から想像してもらいました。また、**あまり取れていない小さいお子さんのためには、その子の近くにある動物カードを言ってあげる**ような工夫も、ばれない程度にしていました(笑) 振り返ると結構、気を使いながらのカルタでしたが、みんな楽しんでいました(*^^)v

穴が開いている我が家のカードと、空いていない友達のカードだったので、両家のバラバラになったカードを穴あり、穴なしで分けられ、片付けが楽でした。

【カルタで使える会話集】

- ① Are you ready to play Karuta?
- ② Spread all the cards on the floor.
- ③ Not face down. Face up, please.
- ④ Place them with the big picture sides facing up.
- ⑤ Here is your fly swatter.
- ⑥ Don't hit your friends with it, okay?
- ⑦ Here! I got it!
- ⑧ How many cards do you have?
- ⑨ I'm the champion!
- ⑩ Let's clap for Akko!
- ⑪ Let's give Akko a big hand!



【日本語訳】

- ①カルタする準備はできた?
- ②床に全てのカード広げて
- ③裏じゃなくて、表でお願い
- ④大きな絵が描かれている方を表にして置いて
- ⑤はい、あなたのハエたたきね
- ⑥それで友達叩いちゃダメよ
- ⑦ここだ! 取った!
- ⑧何枚カードある?
- ⑨私がチャンピオンだ!
- ⑩アッコに拍手を!
- ⑪アッコに盛大な拍手を!



⑧かくれんぼ…Hide-and-Seek

TAC の枚数と隠す部屋を決めてから、そのカードを隠します。最初に隠した枚数を伝えて、**見つけるたびにカウントしてもらおうと数字の復習**になります。次のレベルとしては、隠れていた場所を英語で言ってもらいましょう。“On the chair.(椅子の上)”“In the box.(箱の中)”など、**前置詞の復習**になります。英語力がかなり高いお子さんであれば、apple のカードを見つけて、“The apple was hiding behind the curtain.(りんごはカーテンの後ろに隠れていた)”とか、drink のカードを見つけて“Dumbo was drinking under the table.(ダンボはテーブルの下で飲んでた)”などと言ってもらいましょう。**お子さんの英語力に合わせて、少しでも発話を促し、アウトプットできる環境作りが大切**です。



日本のように、「も〜いいかい?」、「も〜いいよ」「ま〜だだよ」といったやり取りはイギリスやアメリカにはありません。オニになった人は、相手の返事を確認せずに、数を数え終わったら、“Ready or not, here I come!”と言って探しに行きます。会員のプレゼントで届いた **Zippy の DVD “HIDE-AND-SEEK”**でも言っていたと思いますよ。探されて見て下さい(*^^)v

【かくれんぼで使える会話集】

- ① Let's play hide-and-seek!
- ② That's a good idea.
- ③ Who is "it"?
- ④ Let's decide with a "janken*."
Rock, scissors, paper, one, two, three!
One, two, three!
- ⑤ I win/won!
- ⑥ I lost!
- ⑦ I'm "it."
I'll count to 10/20/100.
- ⑧ I'll hide the cards.
Cover your eyes and count, okay?
- ⑨ Ready or not, here I come!
- ⑩ Are you ready?
- ⑪ Yes, I'm ready.
Not yet.
- ⑫ Here it was.
I found it.
It was under the table.

【日本語訳】

- ① かくれんぼしよう!
- ② いいねえ
- ③ オニは誰?
- ④ じゃんけんで決めよ
じゃんけん、ポン!
あいこで、シヨ!
- ⑤ 勝った!
- ⑥ 負けた!
- ⑦ ぼくがオニね。
10/20/100 まで数えるね
- ⑧ ぼくがカード隠すね
目を手で隠してから、数えてね
- ⑨ 準備ができてなくても行くよー!
- ⑩ も〜いいかい?
- ⑪ も〜いいよ
ま〜だだよ
- ⑫ ここにあったよ
見つけたよ
机の下にあったよ



*ジャンケンとは、日本発祥で、世界中に広まっています。

日本語でも言い方が色々あるように、英語バージョンも他の言い方があります。



⑨おままごと…Play House

小さなお子さんはおままごとが大好き！

おままごとはお母さん役や赤ちゃん役になる家庭編もあれば、お店屋さんごっこや、買い物ごっこ、ピクニックごっこと色々な場面を想定してできます。DWE は色々なお話がありますので、それと連動させる方法も楽しいですね。必要な TAC がない場合は、手作りしても良いですね(^_-)-☆



お料理するおままごとの場合であれば、スープに入れる具材をお子さんに選んでもらって、お鍋にカードを入れてもらいます。おもちゃではなく、**親御さんが普段使っている本物の鍋を使う**と臨場感も出て、お子さんも更に喜んでやります。**鍋に入れる前には、必ず Playmate に TAC を通してもらう**のを忘れずに！作るお料理は、TAC にあるケーキ、スパゲティー、サラダ(フルーツサラダがおススメ♡)などから選んで、材料になる TAC を一緒に探して、それを作るのに必要なボールやお皿を用意したら、おままごとのスタートです♪



お店屋さんごっこであれば、**どちらかが店員でどちらかがお客さん**役をします。お店は、八百屋さん、おもちゃ屋さん、洋服屋さん、スーパー、レストラン、など、色々考えられます。お花屋さんをしたいお子さんもいるかもしれません。その場合は、テーマ別で Nature (自然) の TAC を用意します。“A flower, please. (お花下さい)”、“Here you are. (はい、どうぞ)”、“Thank you. (ありがとう)”と英語を使うように心がけます。バラを買う場合、何色のバラか、何本が良いかなど話すと会話が広がります。色や 204 numbers の TAC を用意しておく、会話がスムーズにできます。英語で言えなくても指で指したり、ジェスチャーしたりして相手に伝えましょう。何のお店になるか決まらない場合は、TAC のガイド本の 173 ページ以降のテーマ別索引を参考にしてみてもいいでしょうか？



または、**家を DWE のお話の世界に変えて遊ぶ**方法もあります。例えば、**ピクニック、動物園、サーカス**。ピクニックであれば、ピクニックに行く準備から TAC で遊べます。かごや車にピクニックに必要なものを入れて準備します。もちろん入れる前は、Playmate に通して、音声を聞きます。そして、準備ができれば、事前に用意しておいたピクニック場へ。そこに行くまでも道のりに、NATURE (自然) の TAC を置いておいて、Playmate に通しながら進んで行くのも楽しいものです。テーブルの下



テーブルの下

tunnel(225トンネル)と見立てたり、椅子をつなげて上を歩いて hill(226 丘)に見立てたり。普段したら怒られることが、この日はOK! 子どもたちはワクワクして遊んでくれます。Play Along! の車を走らせながら、ピクニック場へ行くのも楽しいでしょう。そして、おいしくご飯を食べて、もちろん片付けまでしてから、ピクニックごっこは終わりです。

DWE のお話の世界を本だけで終わらせるのではなく、連動している TAC を利用して、家でごっこ遊びをすることで、DWE のお話が更に身近に感じられるようになります。



⑩実物探し…Finding Real Things

TAC から家にあるものを複数枚抜き出します。TAC のガイド本を参照する場合、175 ページの INSIDE A HOUSE(家の中で目にするもの)がおススメです。準備として、TAC に両面テープ(後できれいにはがせるように、剥がせるタイプが良いかも)を貼ります。TAC に対応する実際の物が、家のどこにあるかをお子さんが探し、TAC を貼ってもらうゲームです。終わったら、お子さんに一つ一つ案内してもらい、合っているか確認しながら Playmate に通して、TAC を回収していきます。ここでは、ストップウォッチなどで時間を計ってタイムを競うのも楽しいです。または、時間制限を設けて、1分でどのくらい探せるかとかも盛り上がります。兄弟がいる場合は、競争もできます。



両面テープを貼ったり、剥がしたりも面倒なので、実物を探したら、カードを近くに置くというだけでも良いかもしれません。準備や片付けはなるべく簡単にしたいものですよね(^o^)/

先ほどは、実物の所に TAC を置きに行きましたが、次は、【実物を持って来てもらう編】です。大量のカード(枚数は適当)を渡し、その中から実際に家にあるカードを探し出してもらいます。家には実際ない物の TAC を入れると、難易度が上がります。実物を持って来て、その物の名前を言ってもらい、Playmate にカードを通し、単語が合っているか確認

します。複数人プレイヤーがいれば、制限時間内に誰が一番多く見つけれられるかで勝負します。単語が正しく言えていたら、ポイント倍とか、実物を持って来られない場合は、ポイント半減とか、ルールを細かくすることもできます。

【色のカードを用意して、その色の物を探し出す編】も楽しいです。どれだけ探せるか、競争するとゲーム性が出てきます。



【実物探して使える会話集】

- ① Here are the cards.
Can you find these real things?
- ② Here is the card.
Can you find its real thing?
- ③ Where is the real ○○?
Is it in the kitchen/living room/bed room?
- ④ Here it is.
- ⑤ Let's listen to the TAC now.
- ⑥ Can you find anything yellow in this room?
- ⑦ How many green things can you find?
- ⑧ Wow, you found many things.
Let's count them!
- ⑨ This game was fun.
I had a lot of fun.

【日本語訳】

- ① はい、カード(複数)
この実物探せるかな？
- ② はい、カード(単数)
この実物探せるかな？
- ③ ○○の実物はどこかな？
台所/居間/寝室かな？
- ④ ここあったよ！
- ⑤ じゃあ、TAC 聴いてみようか
- ⑥ この部屋で黄色の物見つけれられる？
- ⑦ 何個緑色の物見つけれられるかな？
- ⑧ わあ、たくさん見つけたね。
数えてみよう！
- ⑨ このゲーム楽しかったね
とっても楽しかったよ



⑪ケンケンパ…Hop Scotch

カードを一定間隔に縦(カード自体は横)に並べます。TAC に触れないように、ケンケンしながら進み、一番遠くにあるTACを片足のまま拾い上げ戻ってきます。持ってきたカー

ドを Playmate に通します。全ての TAC がなくなるまで続けます。時間を計ってタイムを記録しておく、子どもは記録を更新しようと、努力します。ケンケンができるお子さんはケンケンしながら。両足ジャンプの子は両足ジャンプで。ジャンプが難しければ、TAC に足が触れないように歩いて。お子さんの成長に合わせて、ルールを決めて下さい。下のお子さんが小さい場合は、親御さんが抱っこして、参加ができます。

カードの上に着地すると、カードが滑って転ぶ可能性があります。転んでも、怪我をしないように、布団の上ですると良いかもしれません。

本来のケンケンパの仕方は、お持ちであれば、Let's PLAY! で遊ぶことができます。



⑫すごろく

…Sugoroku (Board Game)

TAC のカードを順番に床に並べます。お子さんに並べてもらおうと、自分が作ったすごろくなので、より積極的に遊んでくれます。並べる際、ソファの上や、テーブルの下や、階段などに置くと、普通のすごろくにはない楽しみが出来ます。



サイコロを振り、出た数だけ進みます。進んだ先の TAC が読めたら、もう1回続けてサイコロが振れます。言えない TAC に止まるまで、ずっとその子の番です。正しく言っているか確認するために、言った後、必ず Playmate に通してもらいます。言えなかった場合も同様必ず Playmate に通して聞きます。



つまり、サイコロを振る→進む→TAC を読む→Playmate に通す→TAC を戻す→サイコロを振ると続き、正しく読めなかった場合は、Playmate に通した後、TAC をもとの場所に戻し、違う人がサイコロを振ります。1回で交代のルールでも問題ありません。

コマはお気に入りのぬいぐるみなど、好きなものを選んでもらいます。写真は DWE の Book4 に対応する TAC の 183~256 を並べたものです。スタート地点には DWE の Book4 を、ゴールには次の Book5 を置いています。



取り組んでいる CAP やレッスンに合わせて TAC を選んだり、お子さんが好きな TAC を並べたり、と何通りのすごろくができます。お子さんが言えない TAC ばかりだと、やる気を損なう危険性がありますので、練習してほしい苦手な TAC は少なめにするのが、大事です。『楽しく遊びながら、いつの間にか英語の力がついている』というのが理想だと思います。



スタート

【すぐろくで使える会話集】

- ① Let's play sugoroku!
- ② Who goes first?
- ③ I'll go first!
- ④ That's not fair.
The youngest player goes first.
- ⑤ Don't forget to choose a playing piece and place it at START.
- ⑥ You throw the die and move your playing piece the appropriate number of spaces.
- ⑦ It's three.
I can move three stops now.
- ⑧ Can you read the TAC on your space?
- ⑨ Your turn ends when you cannot read the TAC correctly.
- ⑩ It's my turn now.
- ⑪ No cheating! = Don't cheat!
I saw you cheating.
- ⑫ You should take turns.
- ⑬ I need five to win!

【日本語訳】

- ① すぐろくであそぼう
- ② 誰が最初にする？
- ③ ぼくがする!
- ④ ずるいよ!
一番小さい子からね
- ⑤ 最初にコマを決めて、
スタートに置くのを忘れないでね
- ⑥ サイコロ投げて、
出た目のマスを進めてね
- ⑦ 3だ
3コマ進めるぞ
- ⑧ 止まったマスの TAC 読めるかな？
- ⑨ TAC がちゃんと読めなかったら、
君の番は終わりね
- ⑩ それじゃ、ぼくの番
- ⑪ ずるしちゃダメだよ!
ずるしたの見たよ
- ⑫ 順番守らないと
- ⑬ 5 が出たら上がりだ!



*1個のサイコロを die、2個以上だと dice というのが正式ですが、最近では1個でも dice ということも。



⑬陣取り…Territory Game

TACのカードを並べるところまで、すごろくと同じです。ただ、後半の分は逆向きに置きます。このゲームをする場合は2人以上でやります。それぞれの端からTACを読んで行きます。相手とぶつかったらじゃんけんです。じゃんけんも英語ですると、アウトプットの機会になります。“Rock, Scissors, Paper, One, Two, Three!”とじゃんけんをし、“I won!(勝った!)”、“I lost.(負けた)”と言って、勝った人はそのままTACを読み続けます。負けた方は、自分のスタート地点に戻りそこからTACを読みます。相手の陣地の最初のTACまで追い詰めるか、時間制限を設けて、時間が来た時点でどちらがより相手の陣地に近いかで勝敗が決まります。



言えないTACがある場合、中央に置いてあるPlaymateに通さなければなりません。その間に相手に攻められてしまうので、TACを覚える努力をします。また、相手の陣地のTACは敵が選べるルールにすると面白くなります。自分は読めるけど、相手は読めないTACを選んだ方が、戦略的に有利だからです。単語だけ言って進む遊び方に慣れたら、TACを裏面にして、単語と文章を言うようにすると更に力がつきます。

1人で遊ぶ場合は、後半の分を逆に向ける必要はありません。時間を計って記録を取ってあげると、タイムを短くしようと、言えないTACを減らすために、自分からPlaymateにTACを通して練習するようになります。ただ、お子さん1人で遊ぶのではなく、できたら親御さんと陣取りゲームをしていただけたらと思います。

家の壁にぐるっとTACを貼り、他の部屋にも続けて貼って遊ぶのも楽しいですね。床だと下を見ながらなので、見づらいですが、壁だと目線の高さにできます。TACを横に貼っていくと、より広い範囲が陣地となるので、動きが出てきます。また、小さいお子さんがいると、床のTACをグチャグチャにしまう可能性があります。壁だと上の子と親御さんと遊ぶことができます。



TACなどを壁に貼るのに使っているのは、オーストラリア生まれのBlu-Tackという商品です。何度も使えて、壁も汚れません。量を調整すれば、多少重いものでも貼れるので、お子さんが作った作品や工作も壁に飾れちゃいます(*^^)v 超おすすめです!! Amazonでは、460円で売っていました。複数買うと割引があるようです。(2015.4.24現在)

『やらされている状態よりも、自らやる状態』を作り出すように工夫が必要です。『親がやれって言うから、怒られるから』というマイナス動機ではなく、『楽しい! もっとしたい! もっとできるようになりたい!』というプラスの動機でDWEの教材で遊べると良いですね。

①自分の陣地から、カードを読みながら進む



※読めないカードは Playmate に通す



②ぶつかったらじゃんけん



③負けた Froggy は自分の陣地に戻って再スタート



⑭記憶力ゲーム…Memory Game

お子さんの記憶力を試すゲームです。TAC を2枚以上用意します。その TAC を床かテーブルに置きます。

- ①お子さんに TAC を覚えてもらう
- ②目をつぶってもらう
- ③1枚カードを隠す
- ④お子さんは目を開ける
- ⑤どのカードがなくなったかを当てる

何度も繰り返して遊べます。TAC の枚数が多ければ多いほど、難しくなります。1枚ずつカードを隠す方法もありますし、一度に復習枚隠すこともできます。この遊びは、準備の手間があまりかからず、お子さんの記憶力アップのトレーニングにもなります。お子さんがルールを理解したら、お子さんが TAC を隠す役をし、親御さんがこのゲームをするのも、親の脳トレになりますね。

または、数枚カードを見せた後に、シャッフルして、床か机に置きます。お子さんには、最初に見せられた順番にカードを並べてもらうという遊びもできます。



【記憶力ゲームで使える会話集】

- ① Let's play a memory game!!
Can you memorize all the cards on the table?
- ② Now, close your eyes.
- ③ I'll hide one of these cards.
- ④ Now, open your eyes.
- ⑤ Which card is missing?
...I know!
...I don't know.
- ⑥ Yes, the ○○ card was missing!
Good job!
- ⑦ One more time, please!
Can we play once more?
- ⑧ I like this game.

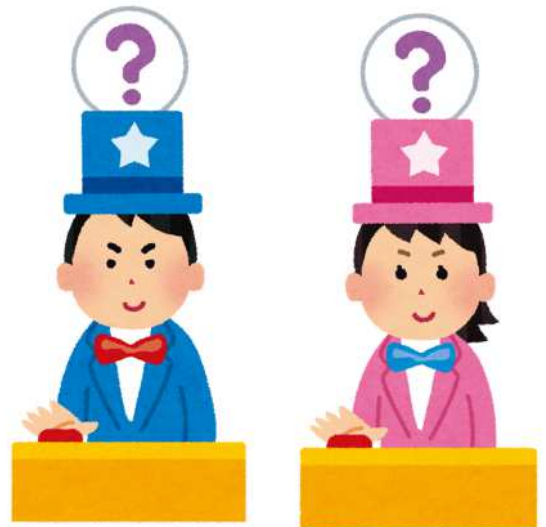
【日本語訳】

- ① 記憶力ゲームしよう！
机の上のカード全部覚えられるかな？
- ② じゃあ、目をつぶって
- ③ この中から一枚隠すね
- ④ じゃあ、目を開けて
- ⑤ どのカードがなくなっているかな？
…分かった！
…分からない
- ⑥ そう、○○がなくなってたね！
よくできました！
- ⑦ もう1回して！
もう1回していい？
- ⑧ このゲーム好き・



⑮ 頭の上のカードはな～に？…Guessing Game

お子さんの頭の上に、お子さんが見えないように後ろから頭の上に TAC を置き、お子さんが手で押さえます。子どもは、頭の上に何のカードがのっているかを色々質問しながら、当てるゲームです。英語力がある程度あるお子さん向けです。最初はお子さんがよく知っている動物や食べ物(果物)で当てやすいものから始めると、お子さんも無理なく遊べると思います。英語でやるのが難しいようであれば、まずは日本語でやっても良いですね。お子さんの質問する能力が上がりますよ。



ユーザー会などで複数人参加者がいると、競争が生まれて面白いですよ。相手のカードは見えるけど、自分のカードは何だか分からないという状態になります。それぞれ順番に、1回ずつ質問して、“Is it a ○○?”と聞き、“Yes, it is.”であれば、勝ち。“No, it's not.”であれば、質問の権利が次の人に移ります。質問できる数を2個までとか、3個までとかする方法もあります。動物なのか、食べ物なのかを絞る質問にしたり、それが好きか嫌いかわねたりと、質問側も色々考えます。または、10秒とかの質問タイムを設定して、相手に色々質問をします。相手の答えから、自分のカードを当てますが、時間が来たら、次の人に質問タイムが移るという方法もあります。誰が一番早く抜け出せるかと盛り上がります。ただし、質問は、Yes または、No で答えられるようなものだけとする方が良いでしょう。“What's on my head?”と聞かれたら、ゲームは終わってしまいますからね(笑)“What



color is it?”と尋ねるよりも”Is it brown?”とか”Is it yellow?”と聞く方が、発話の回数が増えます。動物の鳴き声で当てることもできます。“Does it say Meow?”や“Does it say Moo?”と聞けます。

二人で行う場合は、頭の上ののっているカードを当てるまでの時間を競います。相手が分かりにくいカードを選ぶのも勝つための手段です。当たった時、すぐ頭の上のカードを見るのも良いですが、頭にのせたまま、鏡を見に行き確認するという方法もあります。“Let’s go and look in the mirror!!(鏡を見に行こう!!)”

質問があまり出てこないようだったら、Play Along1の“What’s Inside?”、Sing Along1の“What’s in Your Basket?”、“What Does a Duck Say?”などの歌を練習すると、自分で質問する力が付くはずで
す。これらの歌を CAP に応募すると良いですね。
“What’s Inside?”は、Play Along1に、“What’s in Your Basket?”、“What Does a Duck Say?”はそれぞれ、Sing Along1または、Review(復習)課題1、2として応募
できます。Review 課題は、フルコーラス全て歌う
必要があります。



【Guessing Game で使える会話集】

- ① Don't look at the card, OK?
- ② Here's your card.
- ③ Keep it on your head, please.
- ④ Now, can you guess?
What is on your head?
- ⑤ Is it food/fruit/an animal/a verb?
Is it yellow/blue/orange?
Is it hard/soft/yummy?
Does it say “Moo/Meow/Oink”?
Do you like this, Mommy?
Is it a/an ○○?
- ⑥ No, it's not. Guess again!
- ⑦ Yes, you are right!! You did it!!
- ⑧ Now, it's Mommy's turn.

【日本語訳】

- ① カード見ちゃだめよ
- ② はい、カードよ
- ③ 頭の上に置いておいてね
- ④ さあ、分かるかな？
頭の上には何があるかな？
- ⑤ それって食べ物/果物/動物/動詞？
それって黄色/青/オレンジ？
それって固い/柔らかい/おいしい？
それってモー/ニャー/ブーって鳴く？
これお母さんは好き？
それって○○？
- ⑥ 違うよ。もう1回考えて!
- ⑦ そう、正解!! やったね!!
- ⑧ じゃ、次はお母さんの番ね



⑩お話し作り…Making a Story

たくさん用意した TAC から指定の枚数のカードを抜き出し、その単語を全て使って文章を作る遊びです。ある程度、話せるお子さん向けですが、TAC 裏に書かれている文章を参考にしながら、文章を作ることができますので、ぜひ挑戦してみてください(ˆoˆ) / 枚数が増えるほど、文章やお話を作るのが難しくなりますが、お子さんの作文力が付きます。想像力を豊かに働かせて、面白い文章を作ってみましょう!!



例えば、3枚抜き出したカードが、“monkey (サル)”、“apple (リンゴ)”、“table (テーブル)”だった場合。日本語だったら、どんな文章を作りますか? 「サルがリンゴをテーブルの上で食べている」とかでしょうか? 文章を実際に作ってみるとありえないものになることも。そこが、このゲームの楽しいところです。ちなみに、英語にすると“The monkey is eating an apple on the table.”です。

もう一つやってみましょう。今度は4枚カードを選んだとします。“cat (ネコ)”、“buy (買う)”、“sleepy (眠い)”、“kitchen (台所)”だった場合。「眠いネコは台所で何を買うのかな?」とか? **日本語でも頭の体操になります**ね(笑) 英語にすると“What will the sleepy cat buy in the kitchen?”となります。お子さんが、面白い文章を作って、自身で笑っているということは、自分で作った文章の意味が分かっているということです。**自分で文章を創造できるだけの英語の土台ができています**証拠です。次のステップとしては、言うだけではなく、書けるようになって良いですね^

ちょっと難しいお話になりますが、主語になりえる**名詞**(動物、人物)、述語になりえる**動詞**を入れると文章が作りやすいです。**形容詞**を入れると、修飾できて文章にふくらみができます。**前置詞**の TAC を入れると、場所を表現できるようになります。最初は、名詞から1枚、動詞から1枚選んで文章を作ることから始めて見て下さい。

【お話し作りで使える会話集】

- ① Let's make a story!
Let's make a sentence!
- ② There are many cards in the box.
- ③ Draw three/four cards.
- ④ Put the cards on the table, please.
- ⑤ Now, try to make a sentence with all the cards you have.
- ⑥ Any sentence is fine.
- ⑦ You made a funny sentence.
I like your sentence.
- ⑧ Let me try.
- ⑨ This is easy/hard.

【日本語訳】

- ① お話作ろう!
文章作ろう!
- ② 箱の中にたくさんカードがあるよ
- ③ 3/4枚カードを抜いてね
- ④ テーブルにカード置いてね
- ⑤ それじゃ、持っているカード全部使って文章作ってみようか
- ⑥ どんな文章でもいいよ
- ⑦ 面白い文章作ったね
あなたの文章好きよ
- ⑧ 私にさせて
- ⑨ これ簡単/難しいね



⑩カテゴリー分け遊び…Category Game

たくさんのカードの中から、指定されたテーマの仲間カードを探す遊びです。言葉を発しないお子さんでもできます。遊び方も準備も簡単です。この遊びを通して、お子さんは**分類能力**が身に付いていきます。

実際の例を一つ。お子さんに、animals (245 動物) のカードを見せ、Playmate に通します。お子さんは、指定されたテーマである動物の仲間 TAC を見つけます。見つけるごとに、Playmate に通しても良いですし、最後にまとめて通しても良いでしょう。ちなみに、No.245 を入れないで、動物カードは 30 枚あります。Sing Along! の絵ポスターを見ながら確認しても良いですね。

テーマになりえるものの例を以下にまとめています。枚数はそのテーマに対する仲間 TAC の数を表します。TAC の**ガイド本 p.173 の【Talkalong Cards 索引(テーマ別)】**をご覧ください。になると、対象の仲間カードが一覧になっています。

- 動物** → No.245 animals 30 枚
- 食べ物** → No.298 food 23 枚
- 洋服** → No.158 clothes 約10枚
- 人々** → No.347 people 23 枚



テーマと対応する単語の TAC はないですが、こちらもおススメで

色 → Colors 7枚

身体 → Body 19枚

反対語 → Opposites 36枚

家の中にある物 → Things Inside a House 25 枚以上 (spoon, towel とか入れても OK)

家の外にある物 → Things Outside a House 12 枚以上 (tree, sun とか入れても OK)

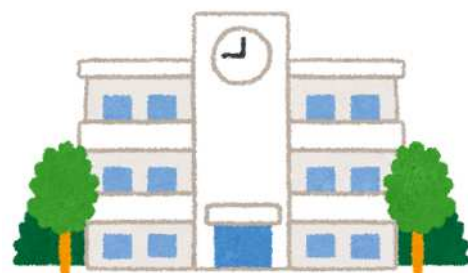


学校で教えていた時は、中学生にこのゲームの応用編をしていました。小さな**カテゴリーカード***を15枚ほど用意します。下記に例を挙げています。

黒板を列の数だけ分けて、線を引き、A、B、C…と上に書いておきます。列に名前を付けるためです。

全ての列の先頭の生徒に 1 枚カード選んでもらい、全列に配り終わるまで、裏向けておいてもらいます。配り終わったら、**生徒はカードの書かれたカテゴリーを見て、その仲間を黒板に書きます。書き終わったら、後ろの席の子にカードを渡します。**後ろの方の席の子は、カテゴリーカードを見る前に自分の列のテーマが何なのかを予測することができるので、心の準備ができます。つづりが分からなければ、自分で辞書を引いて調べる時間が充分あります。先頭の子も、次に書ける単語がないか調べるので、ぼーっとしている暇はありません。

それぞれの列が違うカテゴリーの物を黒板に書いて行きます。時間制限を設けて、時間いっぱい続けてもらいます。最後は、**みんなで答え合わせ**をしていきます。最初に、この A 列はカテゴリーが何だったのか尋ねます。その後、一つ一つカテゴリーに属するか、単語のつづりが合っているか確認し、点数を付けます。そして、B 列も同様に確認していきます。



*カテゴリーカードの例

Animals(動物)、Food(食べ物)、Vegetables(野菜)、Fruit(果物)、Sweets(お菓子)、Drinks(飲み物)、Colors(色)、Shapes(形)、Body(身体)、Family(家族)、Weather(天気)、Nature(自然)、Transportation(乗り物)、Occupation(職業)、Sports(スポーツ)、Opposites(反対語)、Prepositions(前置詞)、Adverb(副詞)、Country(国)、Subjects(教科)、Stationary(文房具)、Buildings(建物)、Months(月)、Things in This Classroom(教室にある物)、Things at home(家にある物)、Things Outside(外にある物)、Things You Wear(身につける物)、Things You Play(遊ぶ物)などなど…

習っていない単語には、日本語訳を書いてあげていたかもしれません。



⑱しりとり…Shiritori (Word-Chain Game)

しりとりは、日本の言葉遊びです。リンゴ→ゴリラ→ラッパー→パイナップル→ルンルン♪と、最後の音を次の最初の音にしてつなげていき、最後に「ん」がついたら負けというゲームです。これをTACでやってみましょう!! 実際にTACを並べて行くと、最後の文字が確認できる上、どれだけ進んだか分かります。更に、2回同じ単語を使うのも避けられます。単語は言えるけど、TACの対応番号が分からない場合は、TACのガイド本 p.166 を開いていただくと、全てのTACがABC順に掲載されているので、そちらでご確認下さい。お子さんが辞書を引く練習にもなりますので、ぜひ一緒に見て確認してあげましょう(^o^)/ ただし、TACは全ての単語に対応している訳ではないので、当然ない場合もあります。その際は、紙にその単語のつづりを書いてカードを作ることができます。一緒にやれば、お子さんの書く練習にもなりますね(..) ♪メモメモ

書けるお子さんは、実際にノートに英語しりとりをドンドン書いてもらい、TACでつづりや発音を確認するという方法もあります。対応する単語がなく、つづりが分からない場



合は、辞書を活用しましょう!! **辞書で調べる習慣を身に付けておく**ことはとても大切ですよ(*^▽^*)

しりとりが難しい場合は、「**今日は a から始まる単語を探そう!**」という遊びでも良いですね(^_-)-☆翌日はbから始まる単語を探したり、Pre Lesson 課題の範囲の単語をアルファベット順に並べ替えたり…最初の文字に意識がいくようになり、フォニックスの導入になりますよ!!

英語のしりとりの例え:**apple→elephant→tennis→sad→door→run…**。日本語のしりとりと同様、名詞だけとしても良いですが、名詞・動詞・形容詞の概念が分からなければ、あまりこだわらず遊ぶのが良いかと思います。

語彙が増えるきっかけになりますので、日本語でもぜひお子さんと遊んで下さい。英語圏では、終わることがないので、このような遊びは発展していません。英語しりとりの場合は、単語が出なくなったら、負けというルールでやれます。ただ、それで終わるよりは、**辞書などを引くきっかけ**にしてみてもいかがでしょうか? **TAC のガイド本 p.166 を開いていただくと、【Talkalong Cards 索引(ABC 順)】**が載っていますので、こちらを参考に、次の TAC を探しても良いですね。TAC の場合、Q と V と X から始まる単語はありません。

日本の英語教室や学校の英語の授業などで、英単語をつなげて英語しりとり遊びをするところはあるようです。私も中高一貫校で中学生に英語しりとりを取り入れたことがあります。学校は人数が多いので、**机の列対抗戦**で盛り上げました。書き終わったら、後ろの席の子にチョークを渡し、単語が思いつかない子には、座っている同じチームの子達が、単語のつづりを言って教えてOKというルールにしていました。制限時間までにどれだけ書けるか、列ごとに競争します。終了後、**正しく書けているか、発音しながら確認**していきました。他のチームが書いたのを見て書いたり、教えたりした場合は、カウントしないルールを後から付け加えたような気がします。または、既に書かれている単語は書いてはいけないというルールにすると、自分のチームだけでなく他のチームの様子も見ないといけないので、よりポーとする時間はなくなります。

辞書は引いて OK なので、みんな一生懸命引いていました。遊ぶお子さんの英語力に合わせて、辞書は禁止にしても良いですよ。辞書が使えると、普段辞書を引かない子もゲームに夢中になって辞書を引いたり、普段英語を発言しない子でも、つづりをお友達のために教えたりと、普段と違う一面が見られました。



⑱ 伝言ゲーム…Telephone Game

【基本編】

単語や文章を次の人に伝言して伝えていくゲームです。最後に伝わった情報が最初の情報と同じであれば、成功です!! 前の人の声が聞こえない程度に間隔を空けて並ぶようにしましょう。椅子が人数分あれば、椅子に座ってやるのが楽ですよ(*^-^*) 伝言するのを単語にするか文章にするか、両方にするかは、このゲームに参加する人の英語レベルに合わせて決めて下さい。



先頭の方が TAC を 1 枚選びます。その単語または文章を覚えたら、次の方に伝えます。これを繰り返し、最後の方が伝わってきた単語または文章を大きな声で言います。先頭の方が TAC を Playmate に通して、失敗か成功か確認しましょう。成功でも失敗でも、最後の方が、次に TAC を選べる役になると、失敗した時でも、気分が変わってゲームを続け易くなります。一つずつ座る椅子が前にずれていきます。

この【基本編】のルールの場合、ある程度人数がいる方が途中で伝言が違う方向に行く可能性が高く盛り上がるので、ユーザー会などで遊ぶのをオススメします。



【家庭編】

DWE は基本的に自宅で遊ぶものなので、ここでは、伝言ゲームの家庭編を紹介します。3 人いればできますので、ご自宅でぜひやられて見て下さい。お母さん、お父さん、お子さんの 3 人という設定で説明していきますね。

お母さんは TAC を Playmate に通すまたは見せる役。お子さんは、TAC の単語または文章を覚える。お父さんは Playmate の音声が聞こえないくらい遠い所、別室にいます。お子さんはそこまで行って、単語または文章をお父さんに言います。お子さんはそこで待機します。伝言を聞いたお父さんは、お母さんの所まで行き、聞いたことを言います。それが合っていれば成功!! 成功していたら、今度はお父さんが TAC を選びます。お母さんが単語または文章を覚えて、遠くで待っているお子さんに伝えます。お母さんはそこで待機。伝言を覚えたお子さんはお父さんの所に行き、聞いたことを言います。この繰り返しです。ご兄弟がいれば、親がいつも TAC を選び、お子さんがいつもメッセージャーでも良いかもしれません。



英語力に合わせて、単語のみ、文章のみ、単語と文章両方と伝言する内容を決めて下さい。英語が読めるお子さんには、まず自分で読んでもらってから、Playmate に通して音声聴き、正しく読めているか確認しましょう。その際、録音機能を使っても良いですね。声を出して英語を言う機会が倍になりますよ(*^^)v

①なるべく遠くで待機

②TAC の音声を覚える

①TAC の音声を流す

③単語 or 文章 or 単語+文章を伝える

⑤単語 or 文章 or 単語+文章を伝える

④そのまま待機

⑥TAC の音声を流して正解か確認

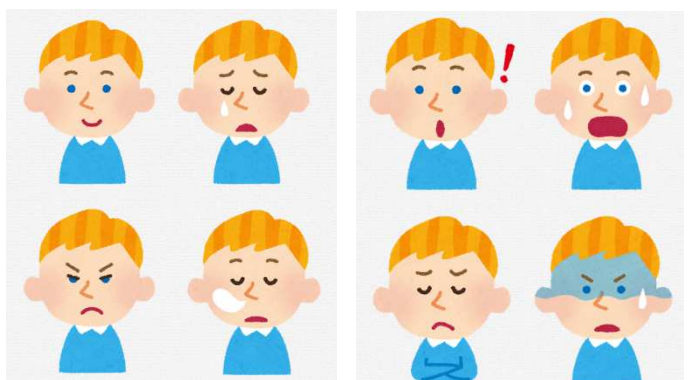


【ジェスチャー編】

【基本編】と【家庭編】では、声を出して相手に伝えていましたが、【ジェスチャー編】では、タイトル通り、**ジェスチャーで伝える遊び**です。2 人でも、家庭編のように 3 人でも、**ユーザー会**のような大勢でも遊べます。

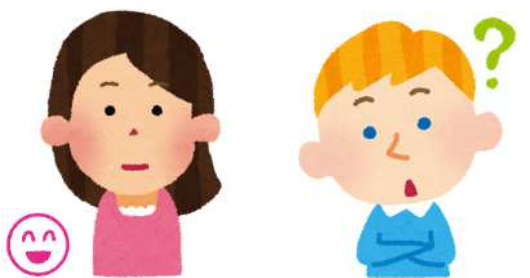
声を出さないで、英語が話せない方でもできます(°^)/英語を話さないから、英語力を伸ばすゲームではないので、意味がないと思われる方がいらっしゃるかもしれません。**コミュニケーションには、言語そのものだけではなく、身振り手振り、そして表情もとても大切な要素**です。日本語を話す時、手を動かすことはあまりありませんが、英語は違います。**身振り手振りが苦手な日本人にはとても良い練習**になります。英語の表現が分からなかったとしても、**どうにかして相手に伝えようとする姿勢も、このゲームを通して育まれます**。そのまま言葉で伝えていく伝言ゲームと違い、より違った方向に行きやすく面白いですよ(*^-^*)

最初は、**感情を表すカード**で遊ぶのをオススメします。最初にこのカードの中のどれかをジェ



スチャーであることを伝えておくと、分かりやすくなるので、成功しやすいです。動物や食べ物、動詞のカードとバリエーションを増やせます。

女性が happy の TAC を選んだ場合 ↓



①TAC は相手に見えないように



②happy を身振り手振りで伝える

③次の人がいれば、次にジェスチャーで伝える

③次の人がいなければ、答え合わせ
“Are you happy?”と女性に聞く



④合っていれば、“Yes, I’m happy.”と言って Playmate に TAC を通す
間違っていれば、“No, I’m not happy.” “Guess again!(もう1回考えて!)”と言う



3人以上である場合の答え合わせは、④で TAC に通すのではなく、“Are you happy, too?”と前の人に聞き、合っていれば“Yes, I’m happy, too.”と答え、その人が更に前の人に“Are you happy, too?”と聞いていきます。この答え合わせの方法で、どこで違う伝言になったのかも分かります。間違っても責めない雰囲気作りを心がけましょう。一人一人が確認していくので、全員が発言することにもなります。最後に、“We’re all happy!!”と言ってそのジェスチャーをすると良いですね(*^-^*)

答え合わせの時間もかかるので、リズムよく遊びたい場合は、最後の人が“Do you have a HAPPY card?”と聞いたり、単語だけでも“Happy!!”と言ったりすれば、OK。合っても、間違っても、その人が今度は TAC を選べるようにして、役が代わるようにすると変化が生まれます。

【ジェスチャー編】のおススメ TAC

テーマ毎に遊ぶとジェスチャーも想像し易いです。今日は動物、明日は乗り物、明後日は動物と乗り物などのように、混ぜていくと復習にもなります。

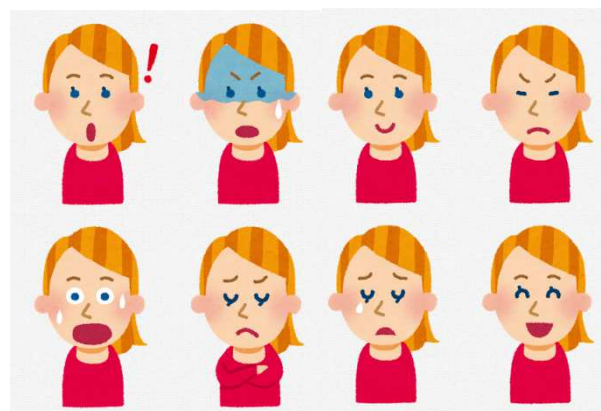
▶気持ちを表す言葉…HOW YOU FEEL

61:angry 89:happy/sad 167:surprised 283:tired
296:cold/hot 307sleepy 326:afraid 427:sick

大きいお子さんの場合は、417:proud や 459:ashamed を入れると難易度アップ↑

▶動物…ANIMALS

11:cat 24:dog 40:elephant 84:horse/horses 132:butterfly 201:fish
223:giraffe/giraffes 237:frog 279:monkey 328:rabbit 336:lion 455:octopus
大きいお子さんの場合は、340:tiger や 432:zebra を入れると難易度アップ↑



▶乗り物…TRANSPORTATION

135:bicycle 198:bus 199:cars 215:boat 344:train 424:airplane
police car(パトカー)、fire engine(消防車)、ambulance(救急車)など加えても◎

▶食べ物…FOOD

77:cake/piece of cake 78:ice cream 114:milk 116:egg 190:hot dog 207:apple
210:banana 211:lemon/lemons 397:soup 399:spaghetti

▶家の中・外にある物…INSIDE & OUTSIDE A HOUSE

1:book 13:chair 15:bed 96:television 105:stove/refrigerator 129:clocks 137:pencil
145 : door 218:match/matches 257:shovel 288:scissors 338:ladder 389:piano
412:telephone 443:key 448:pillow 457:broom

大きいお子さんの場合は、27:tableと415:desk、108:spoon/forkと109:knife
のように似ているものを入れると難易度アップ↑

▶人々…PEOPLE

▶自然…NATURE

▶動作…ACTION WORDS

▶反対語…OPPOSITES

Talkalong Cards のガイド本 p.173～
テーマ別に分かれているので
そちらで番号などご確認下さい(^_-)-☆

反対語の TAC では、【**反対語掛け合いごっこ**】もできます。親が“long”と言ったら、お子さんが**反対語である“short”を少しでも早く言う遊び**です。お子さんが問題を出しても良いですし、日本語でも同じように遊べますよ。反対語を覚えることで、語彙が豊かになっていきます(^_^)／

ジェスチャーを使った遊びには、【**ジェスチャーで当てっこ (Charades Game)**】という遊びもあります。②番に紹介しています。そちらもぜひご覧下さい(^_-)-☆

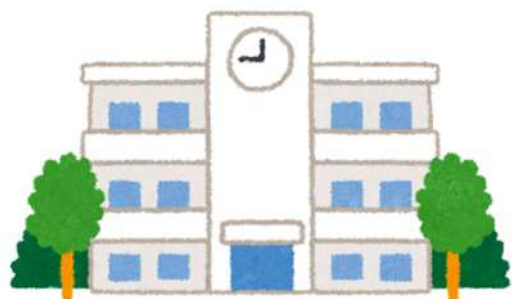


【**背中に文字を書く編**】

【基本編】と【家庭編】では、声を出して相手に伝えていましたが、【**背中に文字を書く編**】では、タイトル通り、**背中に文字を書いて伝える遊び**です。

アルファベットを覚えたお子さんにおススメです。**ユーザー会**でも盛り上がるはず。これは、**2人でも可能**です。

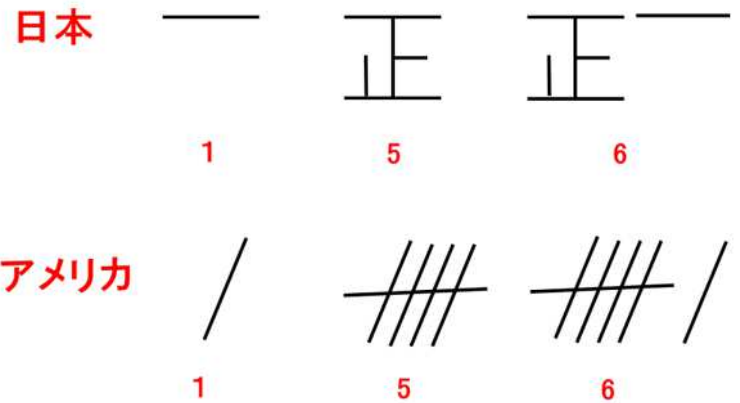
中学1年生にアルファベットを教えた後に、列対抗でこのゲームをしていました。その時のやり方をご紹介しますね。一番後ろに座っている生徒の手にアルファベットを置き、文字が分からないようにすぐに握りしめてもらいます。ふわふわのスポンジでできたアルファベットを持っていたのでそれを使いました。一番後ろの席の生徒全員に渡し終えたら、握っていた手を開いてアルファベットを見てもらいます。



それを前の席の生徒の背中に書きます。後ろから二番目の生徒が分かったら、前の生徒の背中にそのアルファベットを書きます。それを繰り返し、一番前の席の生徒が黒板に文字を書きます。全部の列が書き終わったら、正しく書けているか確認していきます。一番後ろの席の生徒と同じ文字が書けていたら正解です。

早く正確に書けていた列からポイントが多くもらえます。ゲームが終わるごとに、席を一つずつずれてもらい、黒板に書く子が変わる工夫をしました。

ポイントを黒板に書く際は、日本式の「正」ではなく、アメリカ式で書いていました。当たり前ですが、アメリカには感じがないこと、どのように得点をカウントしていくのか文化の違いを知ってもらう機会にもなりました。



ご家庭でする場合は、お子さんが親の背中に書いてもいいし、親がお子さんの背中に書いてもOK!! 背中に文字を書かれるのはくすぐったくて、笑いが起こることも(*^▽^*)この遊びは、お子さんとのスキンシップにもなりますよ♪最初は、アルファベット 1 文字で慣れて来たら、2 文字、3 文字と増やし、その後は単語へと発展させることができます。



②0ビンゴ…BINGO

数字で遊ぶビンゴは、TAC に応用してみました。用意するのは、TAC と数字が書かれた物です。小さなメモ紙に数字を1枚ずつ書いて作ることもできますが、最近では、100 円ショップでもビンゴの球が売っているので、そちらを買われるとより盛り上がるかもしれません。ビンゴのおもちゃがあるとして、一番簡単な方法でまず説明します。

TAC のNo.1~20までと数字を1~20まで用意します。

20枚の TAC の中から好きな 9 枚を選びます。そして、3枚ずつ3列に大きな絵がある方を上に並べます。

ビンゴ玉を出します。出た数字の TAC が、9枚の中にあれば、Playmate に通してから、対応する TAC をひっくり返し裏にします。これを繰り返し、縦・横・ななめの列が1~3つできたら勝ちとか、全部 TAC がなくなったら勝ちとかにして、勝敗を決めます。TAC の

No.1~50 までと数字を1~50 まで用意して、5枚ずつ5列並べると、スケールが大きくなりますよ! 全部なくなったら、勝ちというルールであれば、取る枚数を9枚、25枚と2乗にこだわる必要はありません。一人でも遊べますが、誰かと一緒にやる方が楽しいので、ぜひ親御さんもされてみて下さいね。



数字が書かれた物さえ用意すれば、どのTACでも遊ぶことができます。数字の練習にもなりますよ(*^^)v

単語が書けるお子さんには、9マスか25マスの表を用意して、実際にそこに書いてもらいましょう!! 書く練習にもなりますよ(*^-^*)

この遊びは、ユーザー会などでも盛り上がるのではないのでしょうか?それぞれご自宅からTACを持参し、20~40枚くらいから9枚選んで、ビンゴができます。部屋の広さや人数、お子さんの年齢によって、25枚選ぶバージョンもできるかもしれませんね。このビンゴに時間をどのくらいかけるかによって、枚数は変わってきます。なるべく早く終わらせる場合は、20枚とか15枚から9枚とかが良いでしょう。お子さんが縦・横・ななめとか分からない場合や、小さいお子さんがいて床に置いたTACをグチャグチャにしてしまう場合は、手に持った数枚のもち札TACが全てなくなるまでというルールに変えると、收拾がつかない状態は避けられるかもしれません。

または、TACが複数セットある場合、数字でなくても遊べます。数字の代わりに、BINGOで使うTACとは別にTACを1セット用意します。そのTAC自体が、ビンゴの球の代わりになります。袋などの中にTACを入れて、そこから1枚抜き、Playmateに通し、それと同じTACを持っている方が、ひっくり返せるというルールです。すぐに対象のTACを見せないようにすると、音声だけ聴いて、どのTACなのかを理解しようとするよ。参加型にしたければ、お子さんに順番にTACを1枚抜いてもらい、Playmateに通してもらいましょう。



㉒㉓㉔㉕は全て Guessing Game (当てっこゲーム) です。これらのゲームは準備に手間がかからず、ちょっとした空き時間などに遊ぶことができます。幼児・小学生・中学生も大好きなゲームです。しかも、それぞれ発話を促す仕組みになっているので、ゲームに勝つために英語を一生懸命話しますよ(*^▽^*)

お子さんの興味によって、遊ぶゲームを選ばれると良いですね。

踊るのが好きであれば、㉒のジェスチャーで当てっこ。

絵を描くのが好きだったら、㉓のお絵かきで当てっこ。

おしゃべりが好きな子だったら、㉔の言葉で当てっこ。

クイズやなぞなぞが好きなお子さんは㉕の3つのヒントで当てっこ。

英語の語彙が豊かなお子さんは、㉕のタブーは言わずに当てっこ。

ユーザー会でも、参加人数や年齢、英語力を考慮しながら、遊べるゲームなので、みんな楽しめると良いですね(o^o)/



㉑ジェスチャーで当てっこ…Charades Game

この遊びは、TACに書かれている単語を、ジェスチャーだけで相手に当てさせるというゲームです。このゲームは一人ではできません。用意するTACは、ジェスチャーし易いものの方が良いでしょう。取り組んでいるCAPに合わせて、TACを用意するのも良いですね。

まずは、お子さん一人とご両親と一緒に遊ぶパターンで紹介致します。母親が父親には



見えないように、TAC をお子さんに見せます。お子さんは、ジェスチャーをするので、それが何なのか父親が当てます。当たったら、次の TAC を母親が子どもに見せます。制限時間まで続けます。次は、母親と父親の役が代わります。父親が TAC をお子さんに見せて、お子さんがジェスチャーするので、母親が当てます。母親と父親がそれぞれ何問正解できるかを競います。または、父親が母親に TAC を見せ、母親がジェスチャーをし、子どもが当てる。今度は、母親が父親に TAC を見せ、子どもが当てる。こちらも、母親と父親対抗戦です。

子どもは、お父さん、お母さんが一緒に遊んでくれるのが嬉しいので、ぜひ童心に帰ったつもりで、思いっきりはじめて下さい(*_*)それぞれの役割は代わってかまいませんが、分かりやすいように上記のように説明しました。人数が多い方が楽しいので、兄弟がいらっしゃる方やユーザー会で遊ぶのをオススメします。

このゲームの難易度をあげる方法は、TAC に書かれている文章を正確に相手にジェスチャーで伝え、相手が言えたら正解にするやり方です。

TAC の no.1 であれば、単語の“book”だけでなく、“This is a book.”と文章で相手に言ってもらいます。本をめくるジェスチャーをした後に、本を持っているふりをしながら、本を指さして相手に伝えます。

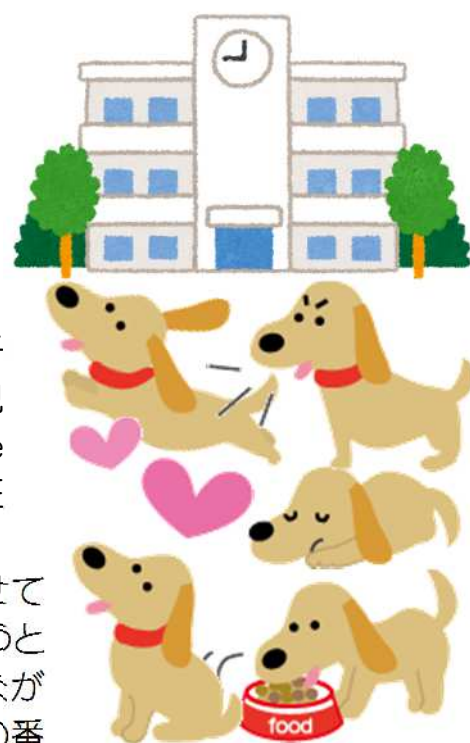
動詞の例を挙げると、TAC の no.6 で単語の“listen”だけではなく、“Minnie is listening.”と言ってもらえるようにジェスチャーします。Minnie や Mickey などのキャラクターもジェスチャーしても良いですが、シング・アロング・セットに付いてきているキャラクター・カードを使っても良いことにしても楽しいですよ(^o^)/最初に、「誰が」をキャラクター・カードで相手に伝え、「何をしている」のかを次にジェスチャーするのです。答える方も文章で言う練習になります。



突然、文法のお話になって、申し訳ないですが、現在進行形という文法を中学1年生で学びます。これを教える時に、よくこのゲームをしていました。教室の左右でチームを2つに分けて、A チームと B チームを作り、対抗戦にしていました。用意したのは、それまでに学んだ動詞のカードです。

A チームからジェスチャーをする代表者を決めてもらい、壇上に上がってもらいます。A チームには見えないように、その子に動詞カードを見せます。A チームはその子のジェスチャーを見ながら、何をしているのか当てます。“Are you running?”や“Are you sleeping?”と英語で尋ね、正解であれば、“Yes, I am.”不正解だと“No, I’m not.”と答え、次の動詞カードを見せていました。

その間、B チームは暇なので、B チームには、動詞カードを見せてあげます。そうすると、壇上にいる子が、一生懸命何を伝えようとしているのか、答えを知りながら見られるので、笑みを浮かべながら参加できます。制限時間、例えば2分経ったら、次は B チームの番といった感じでやっていました。



私がアメリカにいた時に買ったボードゲームで、**The Charades Game for Kids “Kids On Stage”**というものがあります。すごろく形式で、止まったマスの色のカードを 1 枚取ります。そのカードは相手に見せないようにします。赤は動作、青は動物、緑は物です。しゃべることなく、相手にそれが何なのかを伝えます。正しく伝え終わると、次の人の番になります。Amazon でも売っていましたが、かなり高額でした (-_-メ)このようなルールだったら、買わなくても、TAC を使って同じように遊べそうじゃないですか？英語のルールも一部載せときますね↓



Player lands on a red, blue or green space, then picks the corresponding color card without showing it to the other players. The card will show either an action (red cards), an animal (blue cards), or an object (green cards). Without speaking (sounds may be used), player acts out the picture. All other players guess until someone correctly identifies the action, object, or animal.

【Charades Game で使える会話集】

- ① Let's play charades!
- ② Now, guess what I am doing.
- ③ Are you dancing/singing/skipping?
Yes, I am. / No. Guess again!
- ④ Can you guess what food/animal it is?
- ⑤ Is it an apple/egg/elephant?
Is it a banana/cat/dog?
Yes, it is. / No, it's not.
- ⑥ Try to guess how I'm feeling.
- ⑦ Are you happy/sad/angry?
Yes, I'm happy. / No, I'm not happy.
- ⑧ Pass! Next card, please.
- ⑨ Hurry up!
- ⑩ Time is up!

【日本語訳】

- ① ジェスチャーで当てっこしよう!
- ② さあ、何しているか分かるかな？
- ③ 踊っている/歌っている/スキップしているの？
そうだよ/違うよ、もう一度当てて!
- ④ 何の食べ物/動物か分かる？
- ⑤ りんご/たまご/ぞう？
バナナ/ねこ/犬？
そうだよ/違うよ
- ⑥ どう感じているか考えてみてね
- ⑦ 嬉しい/悲しい/怒っている？
はい、嬉しい/いいえ、嬉しくない
- ⑧ パス! 次のカードちょうだい
- ⑨ 急いで!
- ⑩ 時間切れ~!



②②お絵かきで当てっこ…Pictionary Game

この遊びは、ジェスチャーで当てっこのお絵かき版です。**TAC**に書かれている単語を、**絵を描くことで相手に当てさせるというゲーム**です。ここでは、体を動かすジェスチャーや口で伝えるのは禁止です。英語では、Pictionary といい、Picture (絵) と Dictionary (辞書) の合成語です。紙に書いても良いですが、**何度も消して描くことができるホワイトボード**などがオススメです。



ここでは、動詞や形容詞などのTACよりも名詞の方が描きやすいと思います。絵がある程度描けるようであれば、ぜひ色々なTACで試されて下さい(^_-)-☆

TACを使わなくても、親御さんが絵を描いて、お子さんが何か当てる遊びとしても楽しめます。ユーザー会で遊ぶのもおすすめです。

まず、○だけ描いて、色々想像させても良いですね。○が「リンゴ」や「太陽」に変身すると、子どもはワクワクして喜びます。○だけでなく、△や□から絵が変化していくのも、形の認識が深まるきっかけになりますよ。また、「リンゴ」に見せかけて、「サクランボ」だったり、「月」に見せかけて「バナナ」だったり、「ネコ」に見せかけて「ブタ」だったり…と意表を突くのも良いですね(*^▽^*)



You tube で Pictionary と入力すると、How to Play Pictionary で遊び方が英語で説明されています。そちらも、ご参考にされて下さい。

TAC は大きく、裏表に文字や絵があるので、サイズが小さい名詞・動詞・形容詞のカードで遊ぶのをおすすめします。このカードは、ミッキー・マジックペン・セットを買われた方には付いてきています。

①ジェスチャーで当てっこは、Act it out!の動詞・形容詞のカード、②お絵かきで当てっこは、Draw it!の名詞のカードで遊んでみて下さい。品詞別に分かれていますので使いやすいですよ! また、裏が白いのでこのゲームに向いています。

動詞・名詞のカードの箱には、“Act it out!”つまり「その動作やってみて!」と書かれています。また、名詞のカードには、“Draw it!”=「それ描いてみて!」と書いてあります。このカードを作った方の意図としては、①や②のように遊んでほしいということなのではないでしょうか? このカードはタッチペン非対応なので、どのように使って良いのか分からず、箱に入ったままの状態の方が多いかと思います。ぜひ、①ジェスチャーで当てっこや②お絵かきで当てっこで使って遊んでみて下さいね(*^▽^*)



②③言葉で当てっこ

…No Gestures nor Pictures, Words Only Game

この遊びは、②③と似ていますが、ジェスチャーと絵は使わずに、TAC に書かれている単語を、言葉だけで相手に当てさせるというゲームです。ここでは、体を動かすジェスチャーや絵を描いて伝えるのは禁止です。

英語がある程度話せるお子さん向けになります。あまり話せなくても、知っている単語をフル活用して相手に伝えようとするので、ぜひお試しください。正しい英語を話すことを目的とせず、自分が今持っている英語力を駆使して、相手に伝える努力をすることに主眼を置くことが大切です。



②④3つのヒントで当てっこ…Three Hint Game

3つヒントのヒントから、それが何かを当てるゲームです。例えば、一つ目のヒントが「丸」、二つ目のヒントが「果物」、三つ目のヒントが「赤」とくれば？そう、正解は「リンゴ」といったゲームです。あ、「サクランボ」でも良いですね！

正解した後は、Playmate に TAC を通して、音声を確認すると良いですね。できたら、ヒントも Playmate に通しながらやるとより良いですが、準備が大変であれば、全て口頭でもOKです。すぐに次のヒントを言わずに、間を開けて考える時間を上げて下さいね。

私が考えた例を下記にいくつか挙げています。正解の単語も、ヒントの単語も全て TAC にあるものにしてあります。たくさんの違う単語をなるべく使うようにしました。日本語の前に書かれた数字が、対応する TAC の番号です。TAC を探す際の手間が少しでも楽になればと、TAC のガイド本で頑張って調べました(*^^)v ぜひ、ご活用下さいね!!

また、TAC にこだわらなければ、「顔」「2つ」「見る」→「目」とか、最後のヒントを「聞く」に替えて、「耳」とか色々できますよ!! 慣れたら、ぜひお子さんにクイズを出してもらいましょう。考えるのも頭の体操になりますよ(*^▽^*)

納得いられないものもあるかもしれませんが、なぜなぞと思ってお許しを(/ω\)

Answer(答え)→①②③Hints(ヒント)の順番で書かれています。

×:ひっかけ解答の例です。



【Food(食べ物)】

Ice Cream(78)→①hungry(335 空腹) ②cold/hot(296 熱い/冷たい) ③lick(88 なめる)

Apple(207 りんご)→①circles(128 丸) ②fruit(386 果物) ③red(39 赤)

Banana(210 バナナ)→①yellow(38 黄色) ②long(42 長い) ③fruit(386 果物)



Milk (124 牛乳) → ①white (92 白) ②cow/cows (83 牛) ③drink (126 飲む)



【Animals (動物)】

elephant (40 象) → ①big (91 大きい) ②long (42 長い) ③nose* (76 鼻)
giraffe/giraffes (223 キリン) → ①yellow (38 黄色) ②tall (224 高い) ③neck (287 首)
Bee (236 ハチ) → ①flower (17 花) ②stripes (348 しましま) ③pin/pins* (54 ピン/ピン)
Lion (336 ライオン) → ①strong (314 強い) ②animals (245 動物) ③king (434 王様)
Tiger (340 虎) → ①yellow (38 黄色) ②stripes (348 しましま) ③tails (166 尾)
×bee (ハチ 236) はシツポがないので不正解

kangaroos (431 カンガルー)

→ ①jump (66 飛ぶ) ②animals (245 動物) ③pocket (444 ポケット)



【People (人々)】

Baby (182 赤ちゃん) → ①eat (46 食べる) ②sleep (45 眠る) ③cry (383 泣く)
Teacher (414 先生) → ①people (347 人々) ②work (248 働く) ③school (410 学校)
Cook (418 コック) → ①work (248 働く) ②fire (197 火) ③pan/pans (110 鍋)
×firefighter (429 消防士) は鍋を使わないので不正解
Nurse (419 看護師) or Doctor (426 医師)
→ ①bed (15 ベッド) ②help (104 助ける) ③sick (427 病気)
Cowboy (422 カウボーイ) → ①hat (136 帽子) ②ride (136 乗る) ③horse (84 馬)
Firefighter (429 消防士) → ①people (347 人々) ②work (248 働く) ③fire (197 火)
Dentist (436 歯医者) → ①people (347 人々) ②work (248 働く) ③tooth/teeth (342 歯)
Thief (446 泥棒) → ①money (200 お金) ②gold (238 金) ③disappear (381 消える)



【Things (物)】

Book (1 本) → ①open/close (146 開く/閉じる) ②write (317 書く) ③read (192 読む)
Bat (33 バット)



→ ①ball/balls (178 ボール) ②hit/miss (316 打つ/空振りする) ③wood (251 材木)

Refrigerator (105 冷蔵庫)

→ ①kitchen (103 台所) ②food (298 食べ物) ③cold (296 冷たい)

Clocks (129 時計) → ①hands* (70 手) ②long/short (70 長い/短い) ③numbers (204)

Door (145) → ①open/close (146/) ②house (12) ③bells (361)

×window (67 窓) には bell がいないので不正解

ちなみに、戸口の「ピンポン」は英語で“Ding-dong”です。



Ax/Axes (217 おの) → ①tree (69 木) ②wood (251 材木) ③chop (250 切る)

Gloves (216 手袋) → ①clothes (158 洋服) ②cold (296 寒い) ③hands (70 手)

Bathing Suits (269 水着) → ①clothes (158 洋服) ②hot (296 暑い) ③swim (194 泳ぐ)

Scissors (288 ハサミ) → ①hair (155 髪) ②paper (130 紙) ③cut (121 切る)

Train (344 電車) → ①wheel (138 車輪) ②tunnel (225 トンネル) ③truck (345 線路)

Glasses (374 メガネ) → ①wear (47 着ける) ②sun (183 太陽) ③eyes (169 目)



Airplane(424 飛行機)→①fly(280 飛ぶ) ②clouds(184 雲) ③pilot(425 パイロット)
Key(443 鍵)→①house(12 家) ②door(145 ドア) ③open/close(146 開ける/閉じる)
Pillow(448 枕)→①sleep(45 眠る) ②bed(15 ベッド) ③head(16 頭)
Broom(457 箒)→①dirty/clean(301 汚い/きれい) ②floor(73 床) ③sweep(445 はく)

*象の鼻は英語で trunk と言います。

*ハチの針は英語で stinger と言います。

*時計の針のことを英語で hand と言います。

それぞれの針を second hand(秒針)、minute hand(分針)、hour hand(時針)と言います。



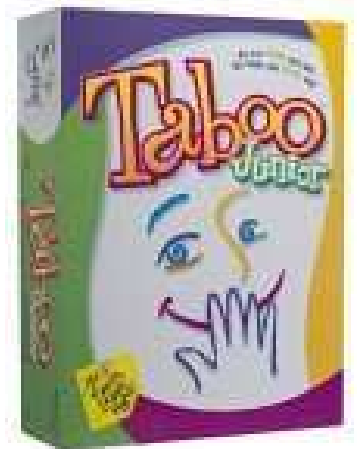
⑤タブーは言わずに当てっこ…Taboo Game

私がアメリカにいた時に遊んだボードゲームで、“**Taboo Board Game**”というのがあります。このゲームは、**③の言葉で当てっこ**と**④の3つのヒントで当てっこ**を足して**2で割り、更に難しくした**ものです。「りんご」を相手に言わせたい時に、先ほどはヒントであった**①「丸」②「果物」③「赤」という言葉を使わってはいけない**という制約が付くのです。それ以外の語彙で相手に「りんご」を当ててもらわないといけません。**相手に言わせたい単語が1つと、その下に、その際に使ってはいけない3つの単語が書かれたカード**がたくさん入っています。

④の3つのヒントで当てっこの例を使って遊んで見て下さい。自分たちでオリジナルのカードを作っても楽しいですね(*^^)v このゲームで遊べれば、ネイティブ並の英語力が育っている証拠です!!

ちなみに、大学時代の留学中に、“Taboo Board Game”を友人としたのですが、かな〜り難しく、自分の番が来なければ良いのになって思っていました(/ω\)ネイティブの語彙力には全く及ばず撃沈でした(>_<)“I’ll pass.”と言いたかったのですが、とうとう順番が来てしまい…その後の記憶はありません((+_+))周りが助けてくれたような!?

このゲームは**小さい子向け**もあります。“**Taboo Junior by Toys**”です。こちらを留学中アメリカで購入し、勤務していた中高一貫校で使うこともありました。“Taboo Board Game”と比べ、グッとレベルが下がり、英語学習者でも遊べます。最初は④の3つのヒントで当てっことして遊び、語彙力が付いて来たら、本来の遊び方で遊べます。Amazon で価格をみたら、かなりのお値段でしたので、TAC を利用して DWE 流に遊ぶのが良いかと思います。ご興味がある方がいらっしゃるかもしれないと思い、アメリカで売っているゲームも紹介しました。



最後に…

※色々はこちらで紹介していますが、我が家で実際に遊んだものは一部です。
お子さんの年齢によっては難しいものや、性格によって、向き、不向きがあります。
ルールもご家庭に合わせて変更しながら、遊ばれてみて下さい(*^^)v

※ゲームの会話集は、自分の英語力では足りない部分を、ネットで調べたり、『ヘンリーおじさんの英語で子育てができる本』を参考にしたりしています。間違っている可能性もありますので、その点はご了承下さい。

『ヘンリーおじさんの英語で子育てができる本(ネイティブが答える英語 Q&A)』

ヘンリー・ドレナン著 CD 付き 1900 円+税 アルク



ここまで読んでいただき本当にありがとうございました m(_ _)m

最初は小さな、小さな種だけど、

愛情注いで続けていれば、

必ず少しずつ成長していくんですね \ (^o^) /

